

外科医と考える

“低侵襲手術”における 手術看護のあり方

～ 今一度、自分たちの役割を見直そう ～



患者の身体的負担の少ない低侵襲手術は、今後も増加することが予想されます。
医療制度改革によりタスクシフトが叫ばれるなか、
鏡視下手術のチーム医療における「手術室の看護師」の役割はどう変わろうとしているのか。
医師と看護師の視点で、さまざまな病院よりパネリストをお迎えし検討します。

開催日時

2021年9月11日(土) 14:00~16:00

開催場所

Zoom(オンライン)

登壇者



講師
済生会横浜市東部病院
副院長 外科部長
慶應義塾大学医学部外科学教室
一般・消化器外科客員准教授

江川智久 先生



ファシリテーター
昭和大学認定看護師教育センター
手術看護分野 主任教員
手術看護認定看護師

山口紀子 先生

パネリスト(手術看護認定看護師)

東京大学
医学部附属病院

近藤郁美 先生

高度・急性期医療センター
公立昭和病院

岡崎政秀 先生

東京女子医科大学
八千代医療センター

森舞 先生

邑楽館林医療事務組合
公立館林厚生病院

田中大輔 先生

プログラム内容

- ・低侵襲手術ってどんな手術?メリットやリスクについて
- ・低侵襲で終わらせるために看護師としてできること
- ・明日の手術に活かせる各施設での取り組みについて

参加費

無料

定員

1,000名

セミナー中も皆様からのご質問を
お受けし、ご質問に対する
意見交換を実施します!



お申し込み方法

- ① URLもしくは二次元コードから特設ページにアクセスし、必要事項をご入力の上お申し込みください。
申し込み締切日 9月10日(金) 特設ページ <https://www.hogy.co.jp/seminar/index.html>
- ② 追ってご登録のメールアドレスへご視聴いただく配信URLをお送りいたします。
- ③ 当日は配信URLに接続のうえ、オンラインでご視聴ください。

※当日、アクセスできない・URLが分からない等の不具合がございましたら、こちらまでご連絡ください。

080-9089-3003 (営業管理部 吉留)

※セミナー終了後、アンケートにお答えいただいた方には当日の資料の一部抜粋、
セミナー内のご質問への回答を共有させていただきます。

※お申し込みを行った方で、当日参加できなくなった場合は、後日動画配信もごございます。



・本オンラインセミナーは医療従事者の方を対象としております。一般の方のお申し込みは、ご遠慮ください。
・同業者の方からの申し込みはお断りする場合がございます。

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY®

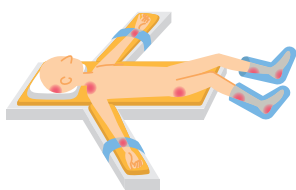
主催：株式会社ホギメディカル

低侵襲・特殊体位による手術では、 看護師による「術中の患者の観察・ケア」が ますます重要となります。



特殊体位による手術では、
周術期褥瘡が
発生しやすくなります。

碎石位では図の箇所に皮膚障害が発生しやすくなります。



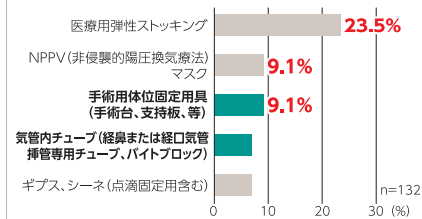
“長時間の血流障害”により起こる
コンパートメント症候群にも
注意が必要です。

碎石位・頭低位・チルト等はウェルレッグコンパートメント症候群、関節の過伸展過屈曲による神経障害のリスク要因です。



手術用体位固定用具は
MDRPUの発生要因の上位に。

MDRPU (医療関連機器圧迫創傷) の発生要因 (大学病院)

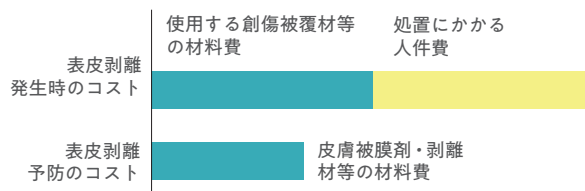


患者の状態を観察しやすくすることで合併症予防に貢献します。

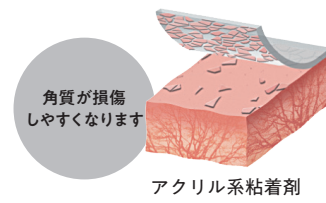
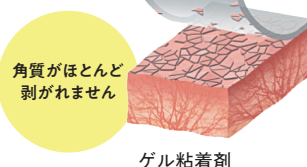
スキン-テア (皮膚裂傷) はテープ剥離時に
多く発生しています。

高齢者は皮膚が脆弱になっている方が多く、スキン-テア (皮膚裂傷) への注意が求められます。強粘着性のテープを使用する頻度の高い手術室では、より徹底したスキン-テア対策が必要です。

表皮剥離の予防は、
発生にかかるコストの削減にも貢献！



ゲル粘着剤を使用した
粘着テープなら皮膚への刺激を
やわらげられます。



株式会社ニトムズホームページより

オンラインセミナー内でも、ホギメディカルより
患者の安全に寄与する製品をご紹介します！